



「青春」を謳歌する充実の秋に

校長 松平 康隆



暦は秋を迎えていますが、「秋涼の…」と表するにはまだしばらく時が必要ようです。そんな中、2学期が始まりました。おかげさまで、学校生活も全体として無事に再開することができ、生徒のみなさんが、日々活発に活動する様子が見られます。この夏休み中も、部活動やさまざまな活動に取り組む生徒のみなさんの様子を、目にする機会がたくさんありました。引き続き、学校生活にも充実した気持ちで臨んでほしいと思います。

2学期を迎え、今年も相中祭にむけての活動が本格的にスタートしました。9/24(木)文化の部、10/10(土)体育の部の本番に向けて、総合的な学習の時間では、「クラスで大切にしたい言葉を決める」という授業が設けられていました。「全力・団結・協力・友情・青春…」どのクラスの黒板にも、きらきらと輝くようなまばゆい言葉たちが並べられていました。発言したり、メモしたりしながら取り組む生徒のみなさんの様子を目にしたとき、私は、みなさんがとても貴重で、かけがえのない瞬間をすごしていることを感じました。仲間と一緒にこんな風に純粋な気持ちで、クラスの目標を考える機会など、大人になってしまうとそう簡単に経験できるものではないからです。

行事を成功させ、その取り組みを通じて仲間とともに成長していこうというまっすぐな気持ちで、大切にしたい思いを言葉にして紡ぎ出していく…。それは、相中祭という大行事に命を吹き込むことにほかなりません。

その横顔は、どのクラスもみんな明るさを帯びていて、一人一人が、2学期の生活への期待感を膨らませていることが感じられ、こちらとてもうれしい気持ちでいっぱいになりました。一人一人が意志をもって物事に取り組むことは、その取り組みを通じて成長を遂げるためには不可欠です。令和8年度相中祭スローガン「空前絶後 ～百花の先へ～」のもとに、一人一人が明確な目標をもち、うまくいったときも、いかなかったときも、あとからしっかりとその取り組みを振り返り、自分の成長につなげていくことができる、そんな行事にしてほしいと思います。

また、今年は「大地讃頌プロジェクト」も、この2学期に本格的にスタートします。「全校合唱による大地讃頌を復活させたい」「伝統を風化させてはならない」という生徒総会での提案を受けて、生徒のみなさんの意見をまとめるかたちで実現した取り組みです。2学期以降、時間は限られていますが、3月の卒業式には、完全復活を遂げた「大地讃頌」の大合唱で、感動と感慨を胸に3年生が巣立っていくことができるよう、全校をあげて積極的に取り組んでくれることを期待しています。

2学期は、生徒のみなさんを次のステップへと引き上げてくれる大切な時期です。3年生は進路活動が本格化しますし、2年生は職場体験学習、1年生は若あゆ宿泊体験学習と、それぞれ大きな行事も予定されています。3年生は、相中祭で学校全体を担う役割の集大成を迎え、そのバトンは2年生へと引き継がれます。1年生も、そうした先輩たちと活動を共にすることで、学校での活動の中心的な役割を担う機会も増えてきます。生徒のみなさんがいつでもエネルギーを正しく燃やし、青春を謳歌するような充実した秋をすごせるよう、どんな時でも、学校はその環境づくりに努めていかななくてはならないと考えています。



《夏休み中の部活動の様子》

運動部の夏の総体、吹奏楽部の吹奏楽コンクールが行われました。酷暑の中、会場まで足を運んでくださったみなさま、たくさんの声援をありがとうございました。本校のブログに写真を多数掲載しておりますので、ぜひご覧ください！



《英語弁論大会》

7月31日(金)、あじさい会館で英語弁論大会が開催されました。3年5組の関戸フウマさんが学校代表として参加し、スピーチを披露しました。家族への想いが伝わりとても素敵なスピーチでした。始業式に全校生徒の前でも披露してもらいました。



《夏休み学習会》

8月19日(水)、20日(木)に夏休み学習会を実施しました。学年ごとに教室に分かれ、各学年の先生が見守る中、夏休みの課題や各自で持ってきたワークなどの学習に取り組みました。



《始業式》

8月25日(火)に始業式を行いました。生徒会本部代表の言葉は3年 溝呂木勇陽さん。学年代表の言葉では、1年 米山航太さん、2年 東咲輝さん、3年 山口京果さんが、1学期に学校生活の中で学んだことや2学期への抱負などを話しました。表彰披露では男子バレーボール部、吹奏楽部、女子バスケットボール部が賞状を披露しました。

